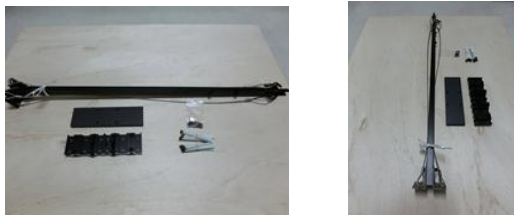




屋根雪下ろし命綱固定アンカー【棟固定タイプYK金具】暫定取付説明書

■屋根雪下ろし命綱固定アンカー【棟固定タイプYK金具】取付け手順

〔※注〕説明写真に用いています屋根棟包部材は実物ではありません。現場実績を積み改定していきます。〕

<p>① 棟固定タイプYK金具部材の準備</p> 	<p><1ヶ所1セットの部材></p> <p>①ベース金具:1個 (ベース金具本体:1個、カバー:1個、固定ドリルビス:12本) (予備ナット、SW:各5個、支柱傾き固定ドリルビス:5本)</p> <p>②ワイヤー付支柱:1個 (ワイヤーL1,000mm:1本又は2本)</p>
<p>② ベース金具本体位置の墨出しと仮置き</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベース金具本体の墨出しを屋根の棟包に行います。 ※注)屋根の棟包内の水切りを破損しない位置を確認し、棟包の中央付近に横墨と縦墨を行います。 ※注)金具位置は棟頂点から約20~30mm以上開けて下さい(ビスが棟端をはみ出さない様にするため)。 ・横墨と縦墨に合わせて、ベース金具本体を仮置きします。
<p>③ ベース金具本体のビス固定</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベース金具本体にブチルゴム付ドリルビス(φ5L100mm)12本で固定します(ビス固定は+2ビット使用)。 ・下穴無しでビス固定できますが、φ3mmのドリルで下穴を開けておくと楽に取付けできます。 ※注)ビス固定において、片締めにならない様、数回に分けて固定して下さい。
<p>④ アイストラップの取外しとカバー取付け</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベース金具本体のアイストラップ(ナットとSW)を取外し、カバーを取付けます。 ※注)アイストラップとナット・SWは再使用しますので、箱等に入れ落とさない様に注意して下さい。 特にナット・SWは落としやすいので注意が必要です。
<p>⑤ ベース本体のボルトに支柱とアイストラップとワイヤーを挿入し固定</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・支柱ベース金具に突き出ているボルトに合わせて支柱を傾斜している方向を棟側にしてはめ込んで下さい。 ・支柱セット後、ワイヤーφ18mmワッカ(小さい方)をアイストラップに挿入した後、アイストラップをボルトに差し込み、SWを入れナットを締め付け固定して下さい。 ※注)ビス固定において、片締めにならない様、数回に分けて固定して下さい。
<p>⑥ 支柱の傾き調整とドリルビス固定</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・支柱の根本のM6L40のボルトを少し緩め、支柱の傾きを調整して下さい。 ・屋根勾配は約3.0±0.5寸勾配で調整できます。(傾きが合わない場合は、黒色の両サイドのビス2本を取外し、M6L40ボルトのみで傾きを合わせて下さい。) ・支柱の傾き調整後、支柱固定ボルトを締め付け、備付けのドリルビスで左右各2本(計4本)で固定して下さい。

⑦ 棟固定タイプYK金具取付け(完了)



※注)アイストラップの固定ボルトナットの緩みがないか、支柱固定ボルトナットの緩みがないか確認して下さい。必要に応じて、予備ナットを用いて二重ナットにして固定して下さい。

⑧ 支柱延長と高さ調整固定ボルトの固定



・支柱の高さは約1.05～1.7Mで調整できます。
 ・支柱の高さ調整は、支柱上部の高さ調整ボルト2ヶ所を少し緩め、高さ調整後ボルトを締め付け固定して下さい。
 ※注)延長支柱の高さ約1.7M位置に目印がありますのではみ出さない様に注意して下さい。

⑨ 棟固定タイプYK金具の使用と注意事項



・YK金具の使用にあたっては、ワイヤー上部のワッカを支柱フックから取外し命綱等に取り付け使用して下さい。
 ・YK金具を2ヶ所に取り付け、ワイヤー上部のワッカを親綱ロープに取り付け使用することもできます。
 ※注)支柱は風速約60m/sや積雪に耐えられる様に設計していますが、強く引張ると破損しますので注意して下さい。支柱が破損した場合は支柱のみ取替えて下さい。

○使用工具・機具:メジャー/鉛筆等のマーキング材/+2ビット/M6ソケット(10)/(φ3mmドリル)/電動ドリル等

■注意・確認事項

- ①性能確保のため取付け手順を正しく守り施工願います。
- ②棟下地材や野地板の損傷や強度不足の場合は使用しないで下さい。
- ③金具の固定位置において、野地板があること、棟包内の水切りを破損しないことを確認して下さい。また、棟換気孔がある等漏水や強度低下の恐れがある場所には使用しないで下さい。
- ④金具本体の取付けに関しては、付属の専用ビスを使用し取付説明書記載の本数で取付けて下さい。また、ビス固定後、ビスを抜くと漏水や強度低下の原因になりますので行わないで下さい。
- ⑤金具本体の切断や分解は漏水や強度低下の原因になりますので行わないで下さい。
- ⑥支柱は風速60m/sや積雪荷重では破損しない様に設計していますが、支柱の上部を人力等で強く引張りますと破損しますので注意して下さい。

■適用範囲

- 1)屋根材:金属屋根や化粧スレート屋根等(瓦屋根は使用できません。)
- 2)棟下地材:木材等(鉄骨材は使用できません。)
- 3)野地板:厚さ9mm以上のヒキ板や構造用合板、耐火野地等(コンクリート材は使用できません。)
- 4)屋根勾配:2.5寸以上(屋根勾配が2.5寸未満の場合は漏水に問題無いか確認して下さい。)